

光栄の森

平成23年5月 毎月1日発行 第35号

発行者 光栄プロテック 木之下

5月を迎えるにあたって

代表取締役 三田雅憲

昨年4月25日京都・新都ホテルにて、当社の創立25周年記念祝賀会を開催させていただいてからちょうど1年がたちました。昨年は開催3ヶ月ほど前より祝賀の準備をはじめ、祝賀会で放映するビデオ作成やプログラム作成、社員全員での合唱「世界に一つだけの花」の練習を繰り返し行ったことなどが懐かしく思い出されます。その頃より1年があっという間に過ぎ、今期もはじまってからはや、1ヶ月がたとうとしております。当社も新入社員を2名迎え、清々しい雰囲気を感じ出しているように思います。光栄ファミリーの一員として、早く職場環境に慣れて楽しく厳しく自由闊達に活躍されることを心より急じております。

今朝、統一地方選挙の結果が報じられておりましたが、夕張市の市長をはじめ30歳代の市長が5人も誕生されました。これは歴代最多の記録であるそうですが、国民も若く元気で現状をより国民目線で考えられる人を求めているのだと思います。当社におきましても、旗手班長、安倍班長といった30歳代がリーダーとして活躍してくれております。若さの良い部分をより一層伸ばしていただきたい、若さゆえ足りない部分をしっかりと会社の先輩から学び勉強していただきたい、「若くてもしっかりやっている。」と他者から認めただけのよう努力精進していただきたいと考えております。そのために今期は、私と同様に年間計画を立ててもらいます。目標を明確に持つことが、モチベーション（仕事に対する熱意）を高める源であると思いますのでがんばりましょう。

そして、朝会（毎朝行われるミーティング）でも話しましたが、さまざまな仕事の中でどうしようもない失敗が発生することがあるでしょう。その失敗を単なるミスとして終わらせるか、次につながる失敗として自分の肥やし（成功につながるもの）にするかは、本人の意識によるものなのです。

“人間はしっかり復習（自分の失敗や間違いを理解しそれを克服できるように努力）することで、次のステージに上がっていきける。”

と元ソフトバンク監督の王貞治氏が話されておりました。自分の間違いや認識不足を自分で認知すること自体、非常にエネルギーのいる作業であると思います。とかく一生懸命に努力したことに対してはケチをつけられたくないのが人間です。しかしながら、もし自分のちっぽけな面子にこだわり学ぶことをしなかったら一生取り返しがつかないことになると思うのです。

「聞くは一時の恥 聞かぬは末代の恥」といわれます。昔の偉人の言葉が今も十分私たちの教訓として生きております。楽しく・厳しく自由闊達にがんばりましょう。

尚、ゴールデンウィークは健康と事故に十分注意して身体を休めてください。

※自由闊達… 他に束縛されないでのびのびと
おおらかに遂行するさま



GW休暇のお知らせ
5月1日から5月5日です。